

ネットワークコミュニティとビジネスの関係

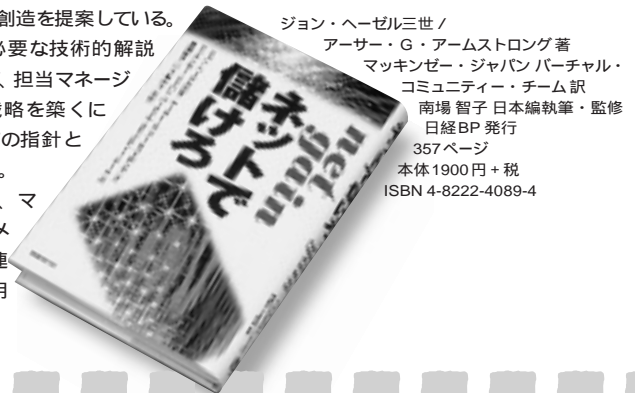
『ネットで儲ける』

巷にはインターネットをビジネスチャンスに結び付けようとサイバービジネスをすすめるビジネス本があふれている。それらは、キーワードの説明やビジネスを始めているサイトの紹介といったものを中心に、ビジネスホームページを構築する手順を解説している。しかし、実際に本のとおりに始めてみると、人気がなかったり、採算が合わなかったり…。その責任をコンテンツの作成者や内容に被せたりしていないだろうか。本書は、このような状況を生むありきたりのビジネス本で

はない。コンサルタント会社のマッキンゼー・ジャパンが訳しているところからも分かるように、戦略的にネットワークコミュニティを構築し、ビジネスに結び付けるガイダンスを行っている。これは、営利目的で始めるネットワークコミュニティの創造を提案している。実現に必要な技術的解説はないが、担当マネージャーが戦略を築くに当たっての指針となりえる。ただし、マネージメント関連の専門用

語が使われるので、予備知識が必要である。

5章で、いかにコミュニティへのトラフィックを集めるかなどを解説しているが、ホームページへの集客の参考にしてみてはどうだろう。



ジョン・ヘーゼル三世 /
アーサー・G・アームストロング著
マッキンゼー・ジャパンバーチャル・
コミュニティ・チーム訳
南場 智子 日本編執筆・監修
日経BP 発行
357ページ
本体1900円+税
ISBN 4-8222-4089-4

インターネット利用の表と裏

菊地宏明 Hiroaki Kikuchi

インターネットの一般論とその裏側

『インターネットはバーチャルな異法地帯』

グレン・サリバン 著
ジャパンタイムズ 発行
190ページ
本体1500円+税
ISBN 4-7890-0899-1



タイトルを見て気づくことは「異法」の文字。通常は「違法」と書くという意味がとおりそうだが、「異法」とあて字をしている。

以前、アダルトビデオのタイトルで「女子高生」と書く、高校生（未成年）が出演していると思われるため「女

子校生」と、あえてあて字をするということがあるが、まさしくこれもそうだろうか。内容を見れば、違法なことではない。インターネットの一般論から、何かにつけてネチケットを強要するインターネットの常連の批判、チャットとネットセックス、バーチャルリアリティとVRMLへと続く。ネチケットを強要するインターネットの常連をネチケットポリスと呼んで、初心者をもドギマギさせるネチケットポリスの忠告に対抗する方法などを教えている箇所があるが、これはいただけない。確かに横柄な常連の発言は、初心者には心臓がバクバクするほど脅威を感じさせるが、嫌がらせて報復することを対抗手段として取り上げるのは正当ではない。唯一これだけが違法的である。

米国のコンピュータ犯罪レポート

『キーをたたく犯罪者たち』

本書はインターネットで起こる2つの問題、クラッキングなどのコンピュータ犯罪とサイバーポルノについての米国からのレポートである。

前半はネットクライムと称し、ハッカーのコミュニティやクラッカーの行動のほか、「ハッカーは笑う」や「テイクダウン」で取り上げられたクラッカーのミトニックとそれらの本の著者ジョン・マーコフや下村努とのエピソード、衛星放送のハッキング、コンピュータウイルス、取り締まる側についてを取り上げている。

取り締まり当局の手入れに際し、コンピュータを没収する行動について、かねてから疑問に思っていたのだが、ここに1つの解答があった。デジタルデータが犯罪の証拠であるのなら、デー

タを押さえれば済むと思うのに、ハードウェアを押収すると聞く。

それに対し、司法省のコンピュータ犯罪についてのコンサルタントは、犯罪を犯すときのコンピュータは凶器と同じで、再び誰かを襲わないようにするためと言うのだ。

後半は、ネットセックスに関する話で、通信品位法が生まれるときに社会問題となった論文の作者マーチン・リムについてを皮切りに、さまざまな性表現の問題や規制、検閲などを取り上げる。

辛口のレポートは、好感が持てる。これらの問題を真剣に考えるには適当な本だ。



チャールズ・プラット 著
戸根由紀恵 訳
ゆまに書房 発行
494ページ
本体2200円+税
ISBN 4-89714-190-7

新しいコミュニティのかたち

『ネットワーク・コミュニティ』

パソコン通信やインターネットを使ったコミュニティは、今までのコミュニティと異なることは想像がつくが、それがどのように異なっているかを明確に理解するのは難しい。

ラインゴルドの「バーチャル・コミュニティ」では、米国の状況を紹介してくれたが、本書ではもっと新しいデータで、日本の実状を明らかにしている。

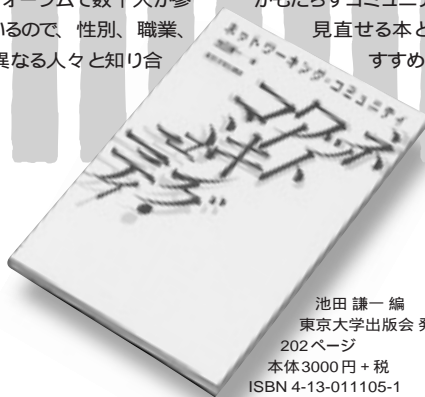
たとえば、「縁」で考える。日常、友人知人のつながりで縁を探って行った場合、結構世間は狭い。

しかし、パソコン通信などを使ったコミュニティでは、1つのフォーラムで数千人が参加しているので、性別、職業、年齢が異なる人々と知り合

えるようになる。

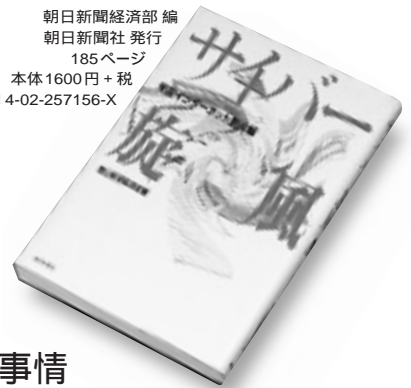
学生なら友人は学生ばかり、社会人なら同業者ばかりといった今までの均質的な人間関係に、このコミュニティは変化をもたらす。そして、改めてその影響力の大きいことが分かる。確かにネットワークで知り合う人は結構多く、実際に会ってみると、見かけや趣味、雰囲気が意外だったりする。実生活では知り合いづらいタイプの人でも、電子化されたコミュニティでは難なく付き合い合える。

さらに、ネットワークコミュニティでの交流手段や表現方法、参加予備軍についてなどが記されている。データも豊富で、客観的にネットワークがもたらすコミュニティを見直せる本としておすすめだ。



池田 謙一 編
東京大学出版会 発行
202ページ
本体3000円 + 税
ISBN 4-13-011105-1

朝日新聞経済部 編
朝日新聞社 発行
185ページ
本体1600円 + 税
ISBN 4-02-257156-X



米国インターネット事情

『サイバー旋風』

朝日新聞の特派員が米国でのインターネットの各側面を取材したレポート。生活、ビジネス、メディア、犯罪の4つの章からなり、それぞれ5つから7つの話題を集めている。

インターネット電話、ネットラジオ、電子マネー、ウェブジン、大統領選、サイバーエンジェルなど、「米国インターネット最前線」のサブタイトルどおりに、取り上げる話題は豊富である。

内容は、コラム程度の短いもので新聞的な内容である。最前線というほど新しいとも思えず、インターネット門外漢が一般知識を身に付けるための本と割り切ったほうがよ

い。たとえば、映画「ザ・インターネット」の主演女優サンドラ・ブロックのインタビューの見出しに誘われてページをめくると、彼女のコメントがたった6行しかない。これだけで、見出しを作ってしまうのがすごい。

基本用語は巻末で解説されているのだが貧弱だ。本文のインターネット中毒の話題でMUDについて取り上げているが、MUDを単に複数人で楽しむゲームと紹介しているだけである。これでは、なぜハマっているかが伝わらない。巻末を見てもMUDの解説はない。

キーワードはいいのだが、内容に不満が残る。これならば、同じキーワードで日本の場合をレポートして欲しかった。

データベースアクセス環境の構築

『Access97で作る イントラネット 実践構築ガイド』

WWWホームページを使って何かをしようとするとき、検索条件を入力してもらって、適切なデータを表示するサービスを考えることは多い。イントラネットでは、社員情報、会議室予約システム、備品番号の管理などに、実際に使われている。しかし、SQLデータベースとUNIXベースのWWWサーバーを用意し、CGIなどを用いて連携をとる仕組みを作り上げる場合、UNIXとリレーショナルデータ

ベースやウィンドウズNTサーバーとSQLサーバーの組み合わせでは、数十万円の費用がかかるだろう。

大規模な情報公開ならいざ知らず、個人のホームページやSOHOでは高くつく。そこで、データベースソフトをアクセス97にしたらどうだろうか。

本書では実践構築ガイドとして、ウィンドウズNTサーバー4.0、インターネットインフォメーションサーバー2.0、アクセス97の構成で、WWWをフロントエンドに使うデータベースアクセス環境を作り上げている。

サーバーのインストールから

始まり、アクセス97のウェブページ作成ウィザードによる静的なデータ表示（アクセスデータを表示させるのみ）やODBC（Open DataBase Connectivity）を使って動的にデータにアクセスして検索させたり、データを更新させたりするまでを解説している。

さらに、ウィンドウズ95とパーソナルウェブサーバーの組み合わせで試みるなど、面白い方法が紹介されている。



青山 円著
自由国民社 発行
303ページ
本体2448円 + 税
ISBN 4-426-75500-X



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp